

## 第2回 鉾田市消防団再編検討委員会

危機管理課

## はじめに

### 1 第1回会議概要

第1回鉾田市消防団再編検討委員会では、全国的な消防団を取り巻く情勢と鉾田市消防団における課題を委員の皆様にご理解いただくべく事務局より説明を行いました。

また、今後の消防団再編の時期や方向性、あり方の検討の土台とすべく委員の皆様アンケートを実施しました。

### 2 アンケート結果

有効回答数7（回答率70％）

設問①再編の必要性はありますか。

- ア. 必要性あり 6件
- イ. 必要性なし 0件
- ウ. 必要性のある分団から始める 1件
- エ. その他 0件

設問②再編する場合の方法は？

- ア. 隣接する統廃合したい分団同士 2件
- イ. 現在と同じ支団制 0件
- ウ. 中学校区単位で編成を検討する 0件
- エ. (旧)小学校区単位での編成を検討する 4件
- オ. その他 1件

設問③再編する場合時期は？

- ア. 3年後 3件
- イ. 5年後 2件
- ウ. 10年後 0件
- エ. その他 2件（随時）

設問④進めるにあたって（自由記述）

- ・消防団加入促進のため、消防団活動を広く広報しては。
- ・消防団は地域コミュニティの中で多くの役割を占めているため、大規模な統合により、コミュニティの衰退を招かないよう検討を望む。
- ・再編を進めるにあたっては地域との話し合いを行ってほしい。
- ・報酬の引き上げなどの消防団員の処遇改善を行ってほしい。
- ・団員の意見、要望を尊重し、より多くの理解を得たうえで進めるべき。
- ・再編時期については、消防団だけの問題ではなく、住民への周知期間を考慮し、消防力の低下を招くことがないよう余裕を持ったスケジュール管理が必要である。

### 3 アンケート結果を受けて

アンケート結果を見てみると、消防団の再編の必要性については御回答いただいた皆様が感じているところであり、分団員数や新入団員の減少により、再編時期についても3年後から5年後と喫緊の課題として捉えられているところ

です。  
一方で、自由記述においては、団員や地域の意見を尊重し理解を得ながら慎重に進めるべきとの意見が見られました。

また、再編の単位としては隣接する分団同士や（旧）小学校区単位という地域とのつながりを重視した回答となっていました。

### 4 今後の展開

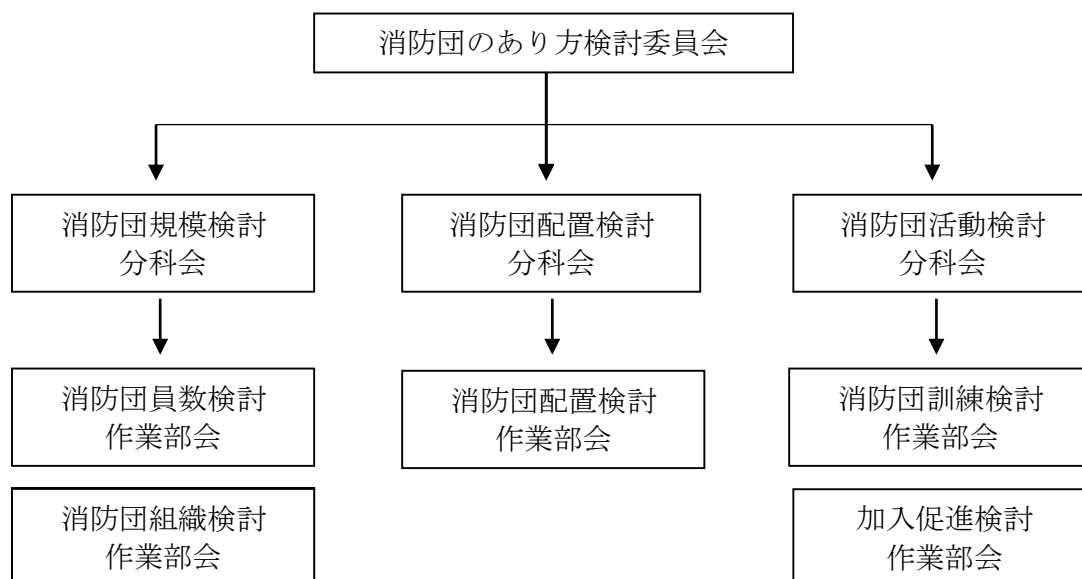
アンケート結果からも、消防団の再編は不可避なものであり今後、具体的な検討へ移っていく必要があります。

つきましては、以下のようなスケジュールで今後具体的な検討を行っていかうと思います。

#### 全体スケジュール

	内容	時期
消防団再編検討委員会	再編の方向性の決定	令和4年度 令和5年度
消防団のあり方検討委員会 ※必要に応じて分科会、作業部会等を設置し検討を行う。	具体的な検討 ・消防団（組織・施設）の規模 ・消防団（組織・施設）の配置 ・消防力維持するための取り組み →答申の作成	令和6年度
危機管理課	消防団再編計画策定	令和7年度

#### 令和6年度検討委員会等組織体制（イメージ図）



## 5 検討を進めるための方針の決定

令和6年度には消防団再編にあたり、具体的な規模や配置、活動内容等様々な事項について具体的に検討を行っていく必要があります。

現状の消防団から上がっている要望や出動状況から課題をまとめますと、

- ①新入団員の確保が難しい
- ②平日昼間活動できる人が減っている
- ③消防団に対して家族の理解を得られない
- ④訓練や点検、行事等の団員の負担
- ⑤分団員数が地区により偏りがある

以上のような点を踏まえ、今後の消防団の体制・組織を検討していくための方針を決めたいと思います。

○今後の人口推移予想

	総人口（人）						
	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
8234 銚田市	51,054	50,304	48,966	47,294	45,447	43,450	41,197

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の市町村別将来人口推計」

2023年10月1日現在住民基本台帳人口：46,941人

うち20歳～59歳男性：11,976人（外国人を含む）

現役消防団員1,159人（女性消防団19人を除く）

約10人に1人が現役消防団員

直近10年退団者数：903人

○近隣自治体・同規模自治体の状況